

こども
子供のインターネットバイブル
案内いたします

アブラハムの愛をた
めされた神さま



ぶん
文: Edward Hughes
え
絵: Byron Unger; Lazarus

ほんやくしゃ
翻訳者: Yuko Kajiki 監修者: Dan Ellrick
しゅつばんしゃ
出版社: M. Maillot; Tammy S.

60話の第5話

www.M1914.org

Bible for Children, PO Box 3, Winnipeg, MB R3C 2G1 Canada

まよお たにん う かぞ ほんし また まよお
許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、許可されています。

日本語

Japanese



かれのむすこを、いけにえにするって？
それは、アブラハムにとって、
ほんとう
本当につらいことでした。
アブラハムは、
じぶん
自分のむすこイサクをここ
ろから愛していたからです。



3

けれども、アブラハムは、神さまの言われ
ることが、たとえよくわからなかったと
しても、ただ神を信じることをよくしっ
ていました。朝のうちに、いけにえのイサ
クをつれ、二人の若者と一しょに、山へ出か
けていきました。



4

で
出かける前、アブラハムは、
焼いていけにえをささげるための火
をおこすたきぎを、用意しました。
アブラハムは、ただ神さまにし
たがうしかないとおもいました。



5

三日たって、さあ、山に近づいてきました
よ。「ここにいなさい。」アブラハムは、若者
たちに言いました。「わたしたちは、むこうへ行っ
て礼拝します。ここにまたもどってきま
すからね。」イサクは、たきぎ
をはこびました。



アブラハムは、火の
刀をもちました。

6

「ねえ、お父さん、焼いていけにえに
する羊は、いったいどこにいるの？」
イサクはききました。「神さまが、ちゃん
とじぶんで羊をよういしてくださってい
るんだよ。」アブラハムがこたえました。



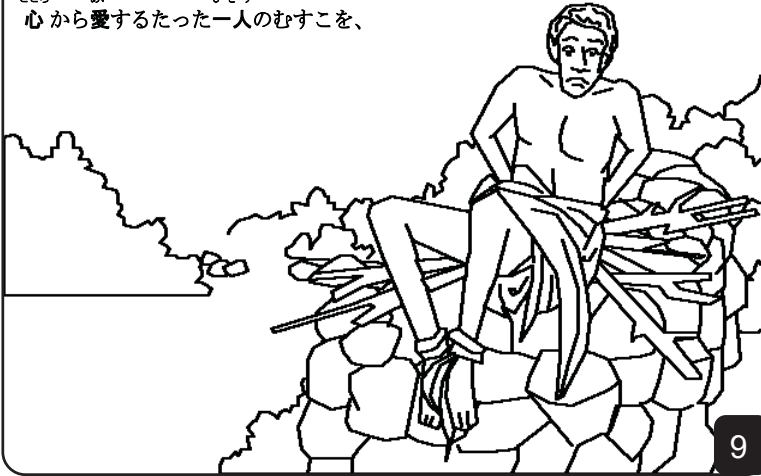
7

ふたり
二人は、神さまがちょうどえらばれたところへ、やってきました。
そこで、アブラハムは祭壇をきずき、神さまの前にささげるいけ
にえを燃やすためのたきぎをくみたまてました。アブ
ラハムは、いままでたくさんの祭壇をきずいて
きました。でもきつと、この祭壇づくりほ
ど、苦しいものものはなかったでしょう。



8

アブラハムは、かわいいかわいいむすこイサクをしぼりあげ、
祭壇の上においたのでした。アブラハムは、
ほんとうに神さまの言われるとおり、
心から愛するたった一人のむすこを、



9

そうです。
アブラハムが、
ナイフを高くふ
りあげたとき、
ナイフの刃が、
キラキラ光って
いました。
アブラハムの心
ぞうは、
悲しめでいまも
はりさけそうで
した。
しかし、アブラ
ハムは、
神さまにしたが
わなければならない
と、
はっきりわかって
いました。



10



「やめなさい。！」
主のつかいがさ
げびました。
「アブラハムよ、いま、
あなたが主をおそ
れていること
が、はっきりわか
った。
あなたは、自分
のむすこ、
たった一人の
かわいいむすこ
さえ、
わたしのため
におしま
なかつた。」

11

ふと、木のしげみの方を見ると、一びきの羊が
いるではありませんか。アブラハムは、イサクの
なわを
ほどき、かわりに羊をいけにえにしましたよ。
ふん、イサクは思ったでしょう。「神さま
は、ちゃんと
なにかも用意
してくだ
さるのだ。ち
ょうど、ぼく
のお父さん
が話
してくれ
たようにね。」



12



父アブラハムと子イサクが礼拝しているとき、主のみつかいがアブラハムに話
けられました。「アブラハム、あなたが神にしたがったので、あなたの子もた
ち、すべての国は、祝福されるであろう。」いつの日
にか、アブラハムのしそんから、イエスさまが、
お生まれになること
でしょう。

13



こうして、アブラハムとイサクは、元気に家にもどってきましたよ。
それから何年かたって、とても悲しいことがおこりました。
サラが亡くなってしまったのです。アブラハムはつまを、
そしてイサクはお母さんを亡く
してしまいました。

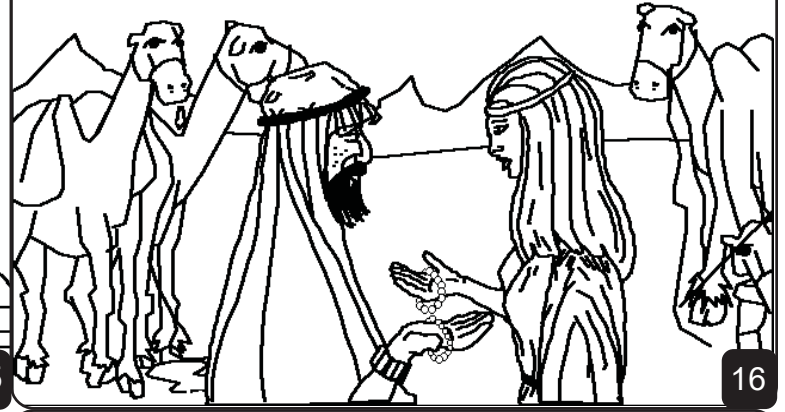
14

サラのおそうしきのあと、アブラハムは、しもべの長にイサクのおよめさんになる人を、さがしに行かせました。そのしもべは、アブラハムのしんせきの中から、イサクのおよめさんをさがそうと、アブラハムの生まれたところへでかけました。



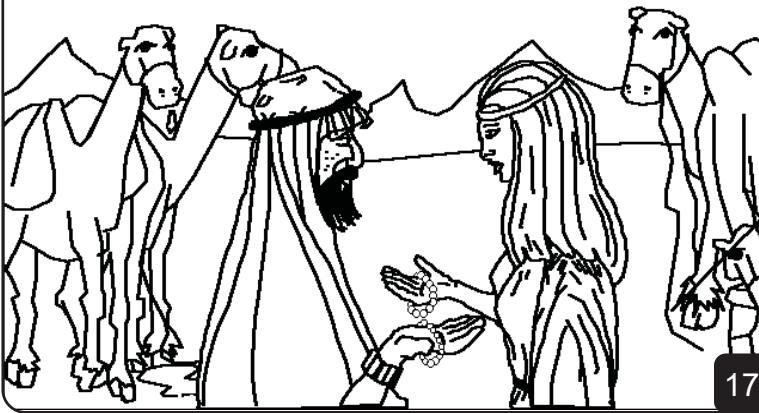
15

しもべは、「神さま、どうぞしるしを見せてください。」といのり、またこう言いました。「わたしのつれているラクダにも水をくださる女の人が、イサクのちょうどびつたりのおよめさんになりますように。」すると、どうでしょう。



16

しもべが、こう祈りおわらないうちに、リベカがやってきて、ラクダたちに水をくんでやり始めたではありませんか。リベカは、アブラハムのしんせきの一人でした。神さまは、しもべの祈りをきいてくださり、こたえてくださったのですね。



17

リベカは、イサクとけっこんするため、お父さんやお母さんのもとを、はなれました。そしてかのじよは、イサクのお母さんが亡くなったあと、イサクをやさしくなくさめてあげました。イサクは、リベカが大好きでしたよ。



18

アブラハムの愛をためされた神さま

神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

創世記 22 章 -24 章

あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。
詩篇 119:130

神さまは、私たちがよくないことをしたことを、していらっやいます。神さまは、それを罪とよばれています。罪のむくい、死です。

神さまは、私たちをとても愛されたので、み子イエスをこの世におくってくださいました。そして、イエスが十字架で亡くなられることによって、私たちの罪をとってくださいましたのです。イエスさまは、よみがえられ天国へもどられましたね！ですから、今、神さまはあなたの罪をゆるしてくださいます。

もし、あなたがあなたの罪からはなれたいなら、神さまにこう言ってください。愛する神さま、私は、イエスさまが私のために亡くなってくださり、よみがえって、今また生きていらっやることを信じます。どうか、私のこころの中に入り、罪をゆるしてください。それで、私は今、あたらしい命をいただくことができます。そして、いつまでも、あなたといっしょにすることができるのです。あなたの子として、生きることができますよう、たすけてください。アーメン

ヨハネによる福音書 3 : 16

まいにち、聖書をよみ、神さまと、おはなししましょう！